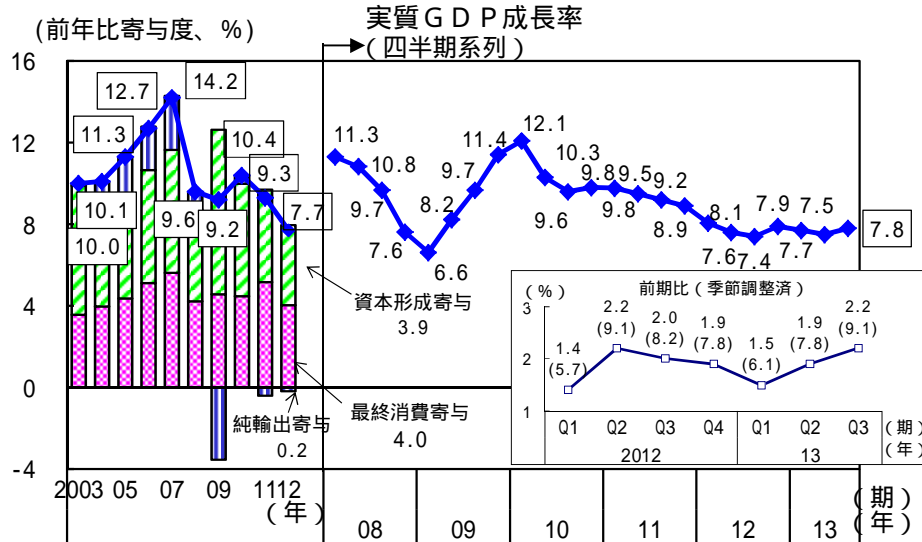


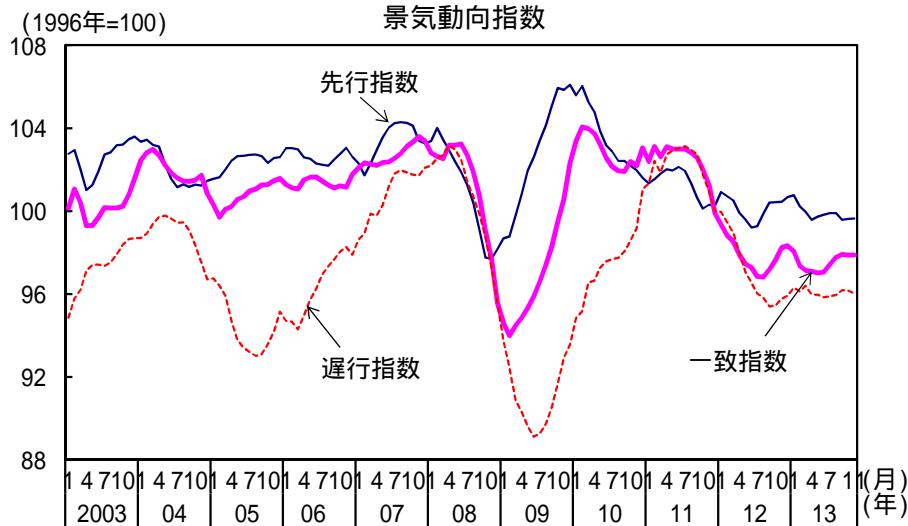
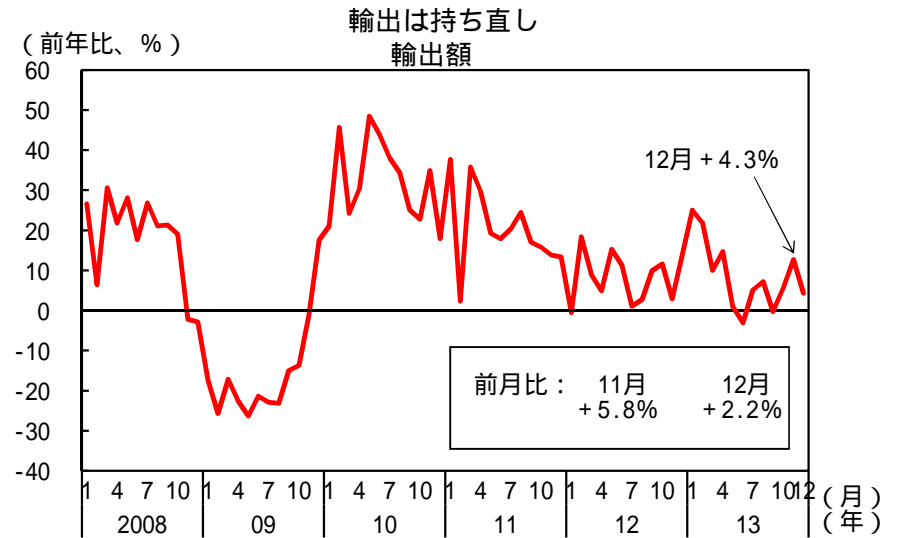
2. アジア地域

中国：

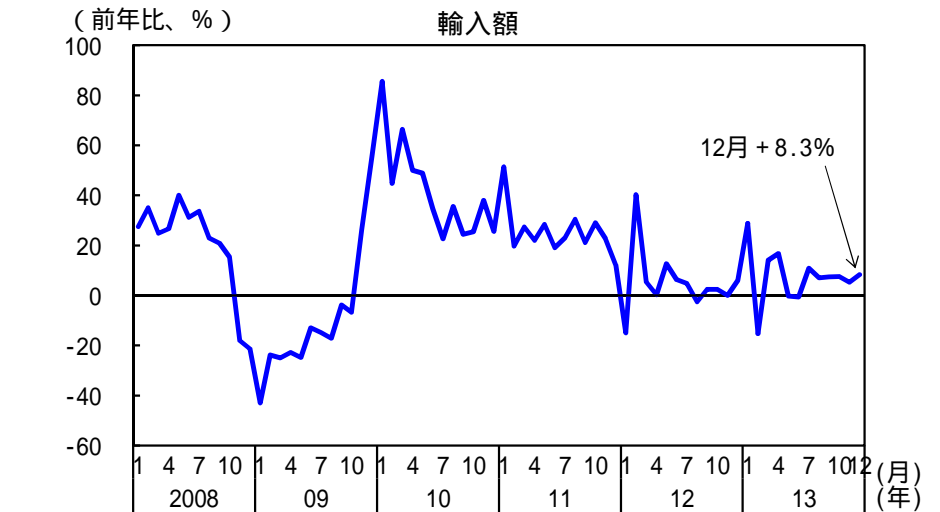
中国では、景気の拡大テンポは安定化しつつある。



(備考) 前期比のグラフの () 内の数値は内閣府試算による前期比年率。

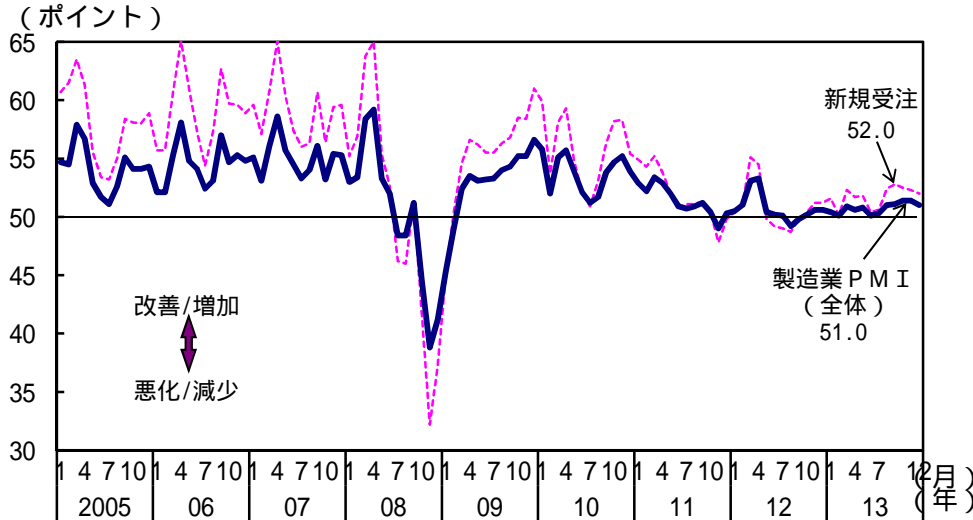


(備考) 一致指数は鉱工業生産等の8指標、先行指数は消費者期待指数等の8指標、遅行指数は個人預金残高等の5指標から構成されている。



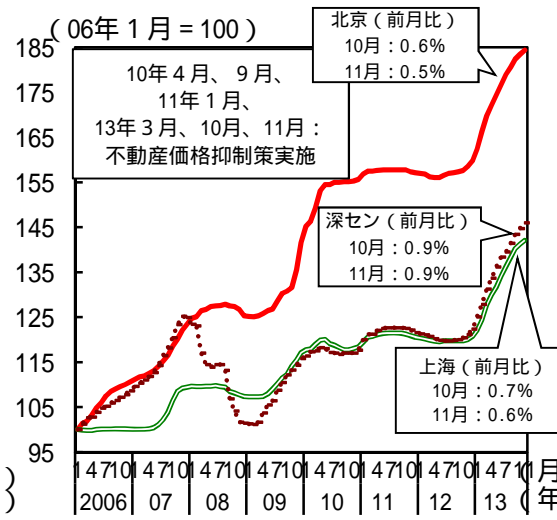
(備考) 春節(旧正月)休暇は、12年1月22~28日、13年2月9~15日、14年1月31日~2月6日。

製造業購買担当者指数 (PMI) はおおむね横ばい



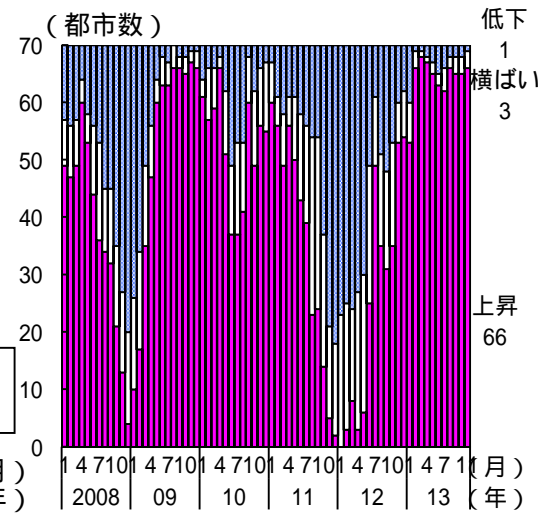
(備考) 1. 製造業PMIは、製造業の業況に関わる11の項目について企業調査を行い、各々が前月に比べてどう変わったのかを集計したもの。製造業PMI(全体)は、生産高、新規受注、原材料在庫、雇用、サプライヤー納期の5つの指標から合成される。50より高ければ、「改善/増加」と回答した企業の割合が多いことを表す。
2. 13年1月より、統計対象社数に変更があったため、厳密には13年1月前後では接続しない。

新築住宅販売価格：上昇

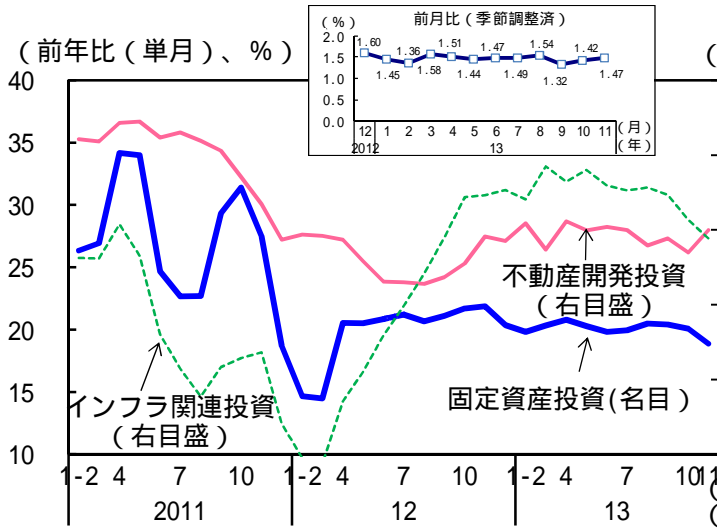


(備考) 1. 価格水準は、06年1月の1㎡当たりの価格を100として指数化。動向は、前月比でプラスの都市を「上昇」、±0.0%の都市を「横ばい」、マイナスの都市を「低下」とした。
2. 11年1月に基準改定があったため、厳密には11年1月前後で接続しない。なお、全国70都市の平均価格は、11年1月から公表されていない。

動向：ほとんどの都市で上昇

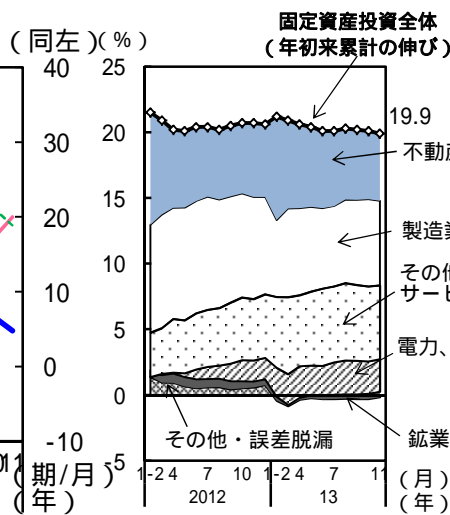


固定資産投資は伸びがおおむね横ばい

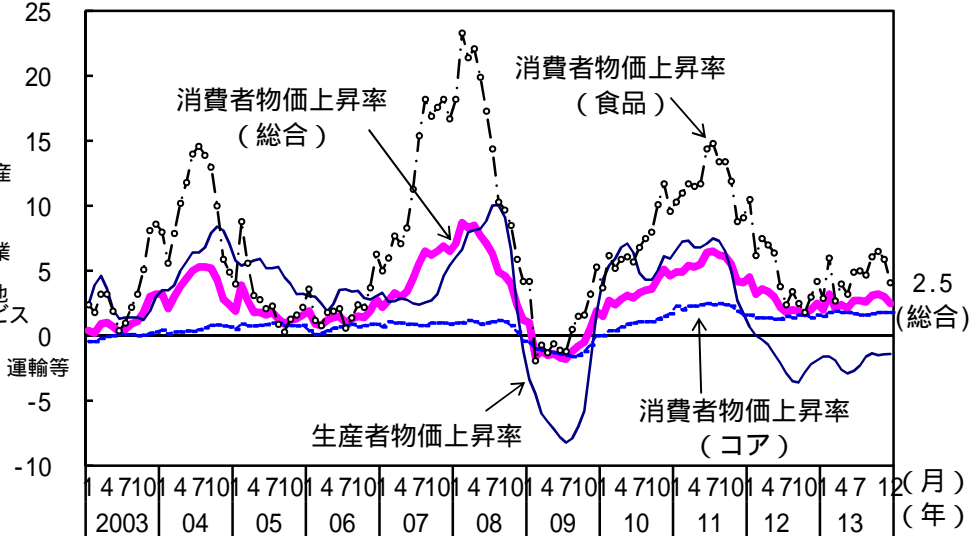


(備考) インフラ関連投資は、道路、ダム、鉄道等の投資額を合算したもの。また、いずれも単月試算値の3か月移動平均の前年比。11年1-2月より統計対象範囲に変更があったため、厳密には11年1-2月前後では接続しない。

年初来累計寄与度

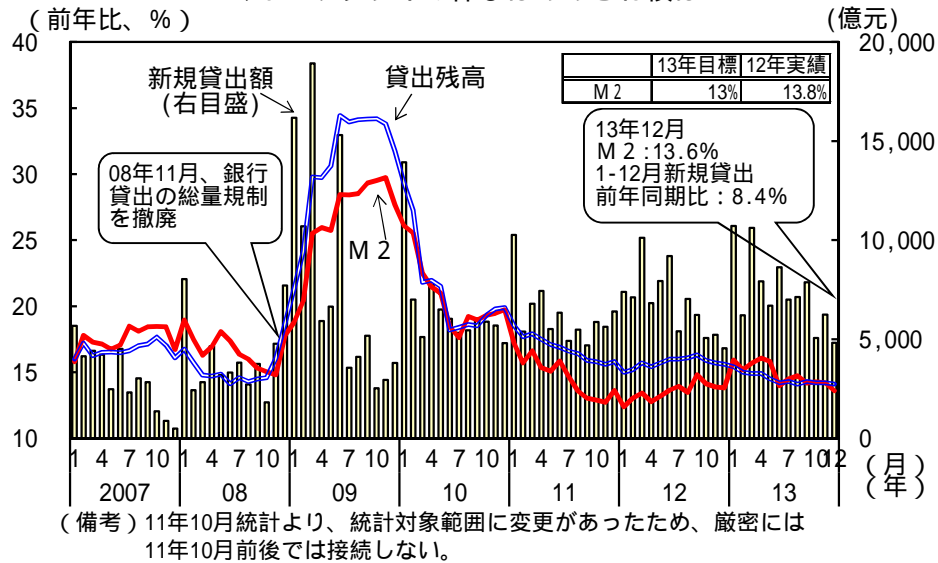


消費者物価上昇率はおおむね横ばい

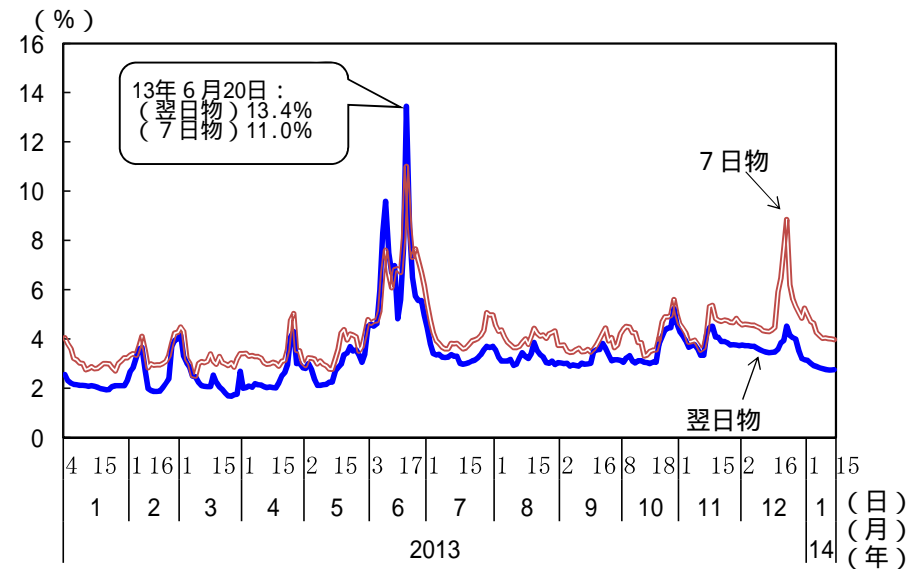


(備考) コア消費者物価は、総合から食品とエネルギーを除いたもの。

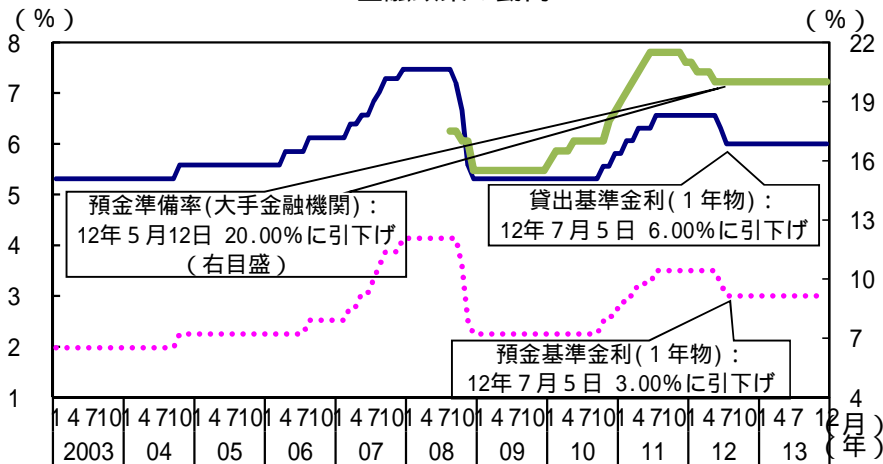
マネーサプライの伸びはおおむね横ばい



上海銀行間取引金利 (SHIBOR) : 上昇した後に低下

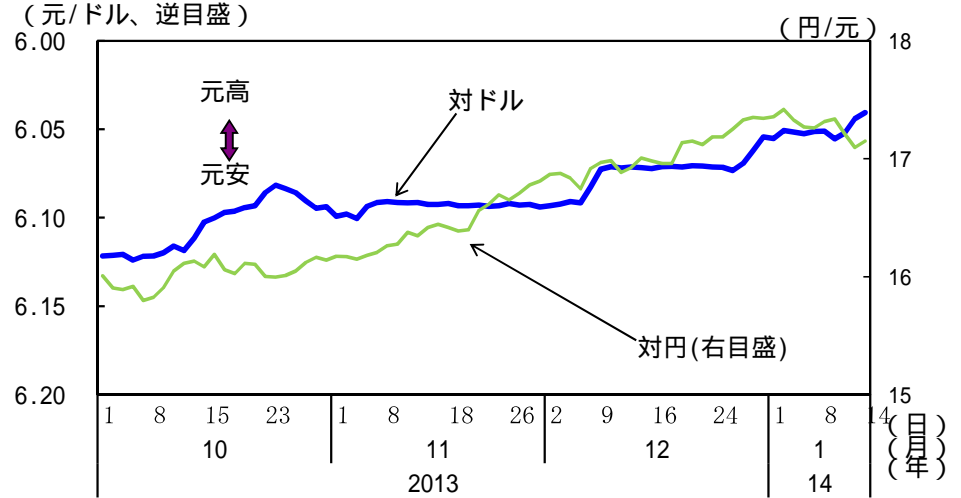


金融政策の動向



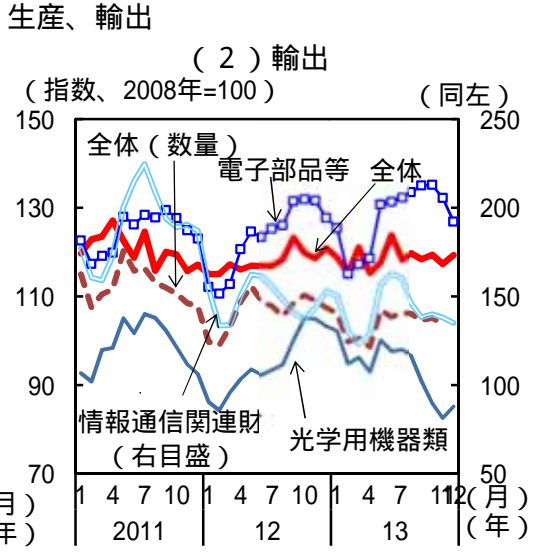
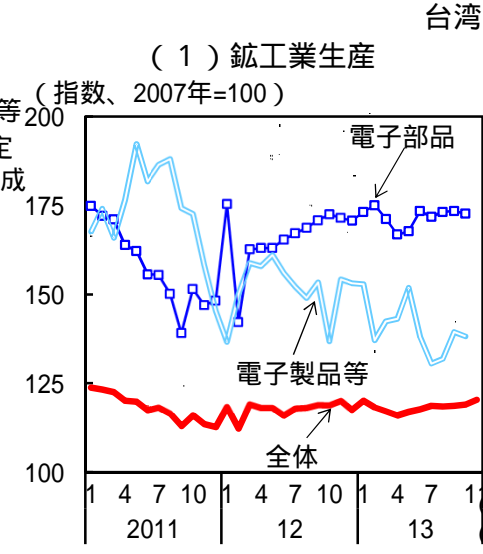
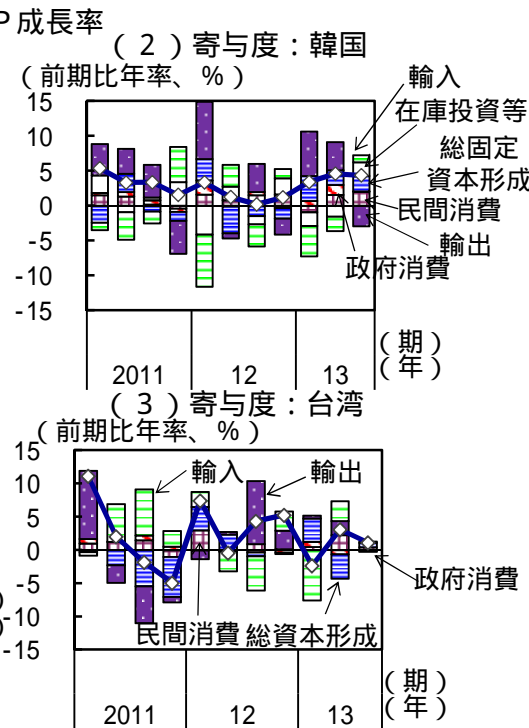
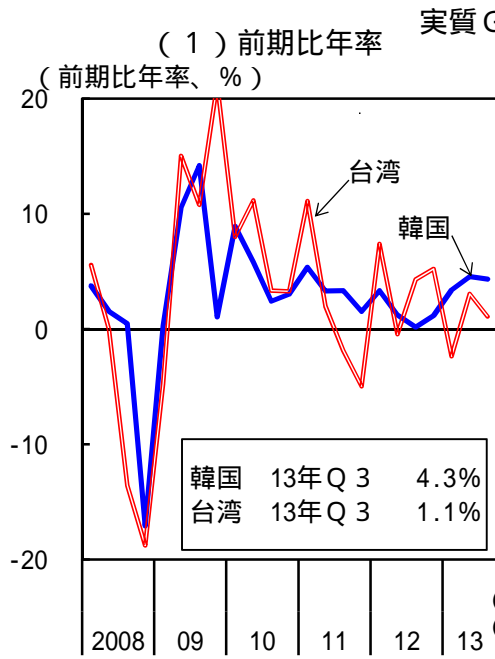
- (備考) 1. 日付は政策金利及び預金準備率の引上げ/引下げ発表日。
2. 08年7月以前は、大手金融機関の預金準備率が公表されていないため、全体の預金準備率としている。
3. 13年7月20日から貸出基準金利の下限を撤廃。

人民元名目為替レート: このところやや増価

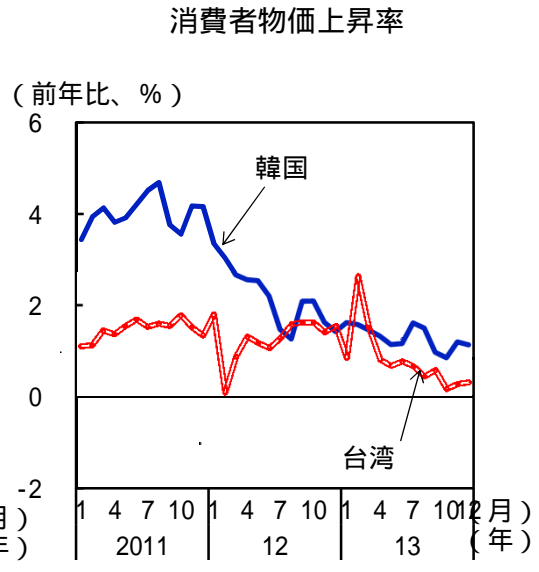
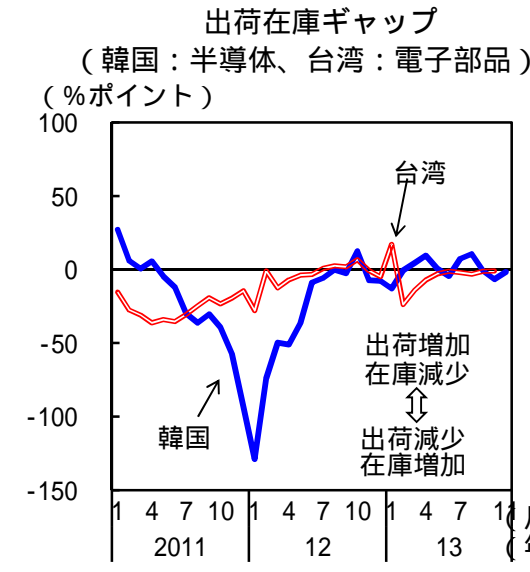
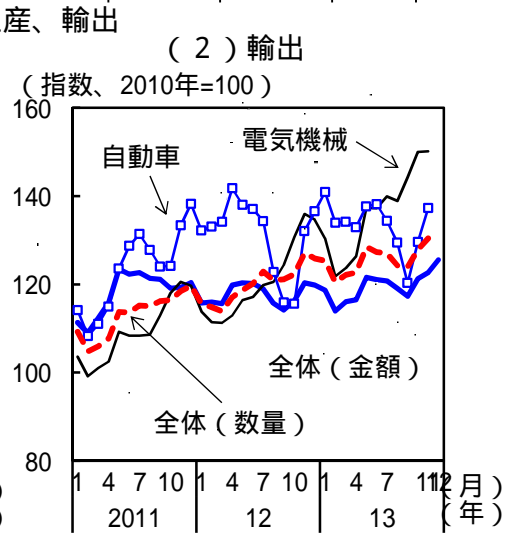
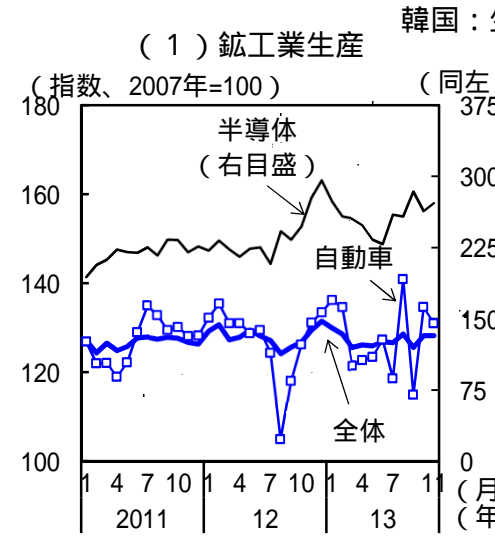


韓国、台湾：

韓国では、景気は持ち直しの動きがみられる。台湾では、景気はこのところ持ち直しの動きが緩やかになっている。



(備考) 輸出総額は季節調整値。輸出の全体(数量)、電子部品、情報通信関連財及び光学用機器類は原数値の3か月移動平均値。数量以外は米ドルベース。



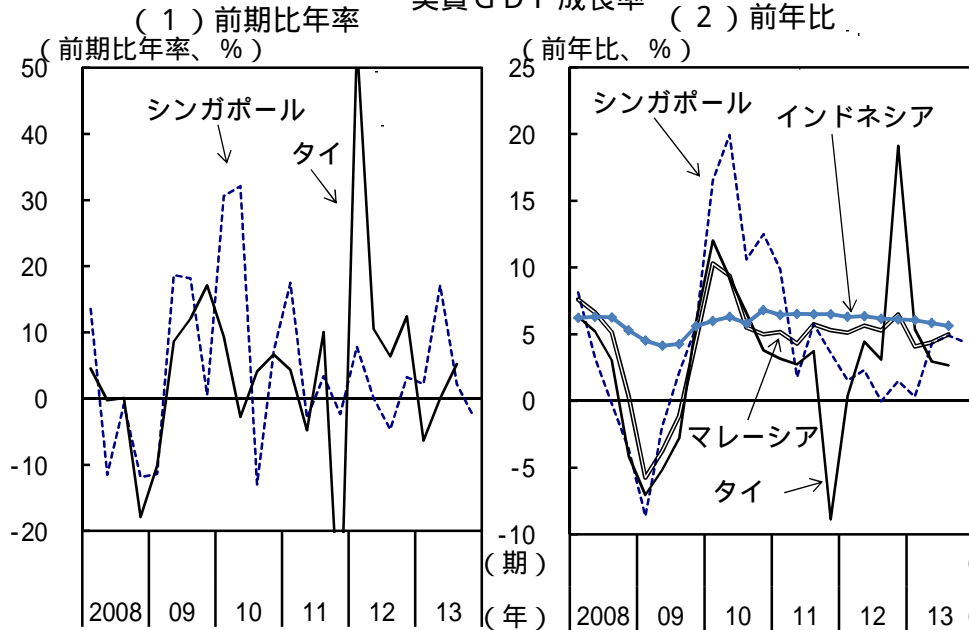
(備考) 出荷在庫ギャップ = 出荷前年比 - 在庫前年比。(備考) 台湾は生鮮食品を除いたもの。

(備考) 輸出の指数は、原数値の3か月移動平均値。数量以外は米ドルベース。

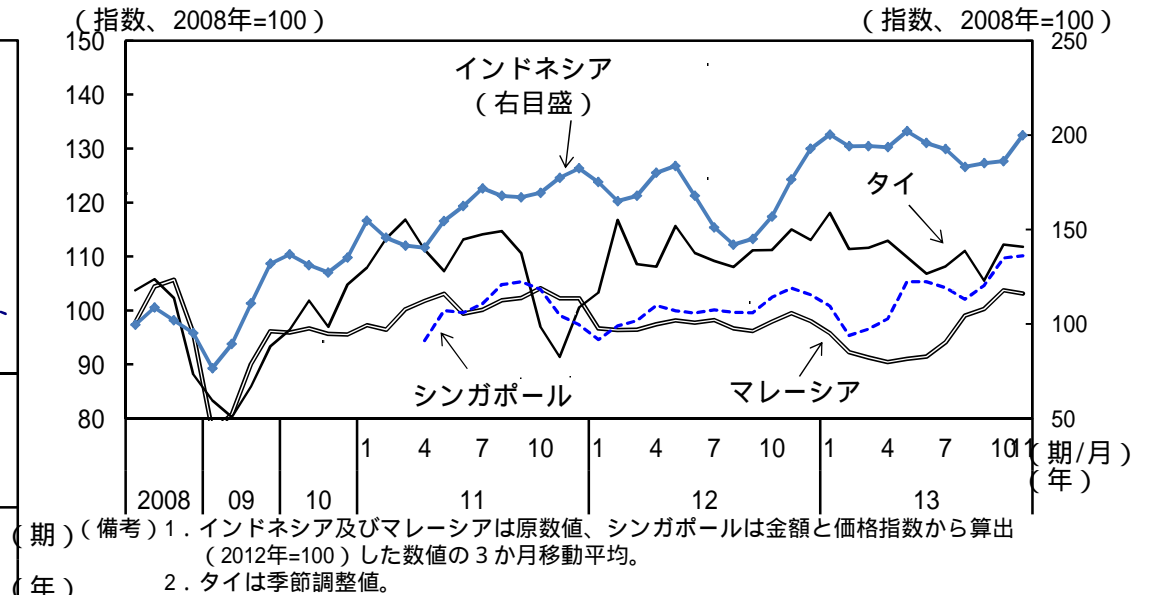
ASEAN地域：

ASEAN地域（インドネシア、タイ、マレーシア及びシンガポール）では、景気は持ち直しの動きが緩やかになっている。

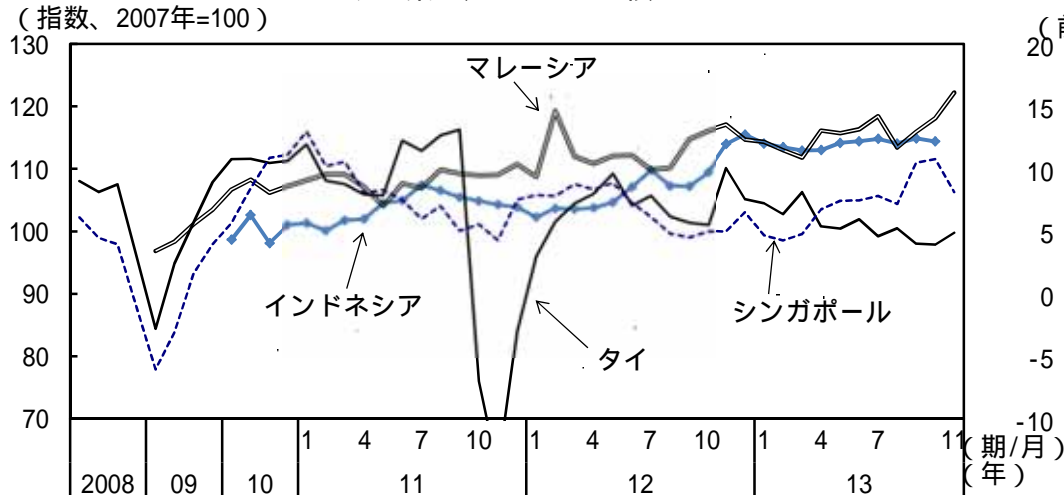
実質GDP成長率



輸出（数量）：おおむね横ばい

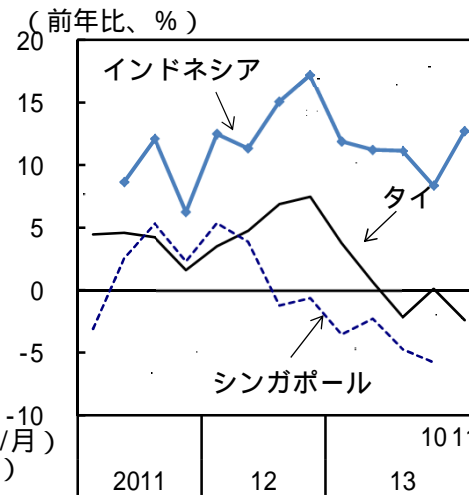


鉱工業生産：おおむね横ばい

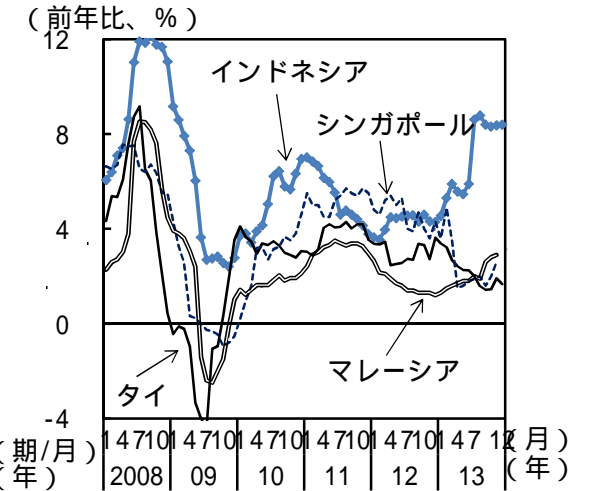


(備考) 1. インドネシア、タイ及びシンガポールは製造業の数値。ただし、シンガポールは振れが大きいバイオ・メディカルを除いたもの。
2. インドネシアは原数値の3か月移動平均値(10年基準、10年以降のみ公表)。インドネシアを除く各国の数値は、季節調整値(マレーシアは05年基準、09年以降のみ公表)。

実質小売売上：伸びは鈍化



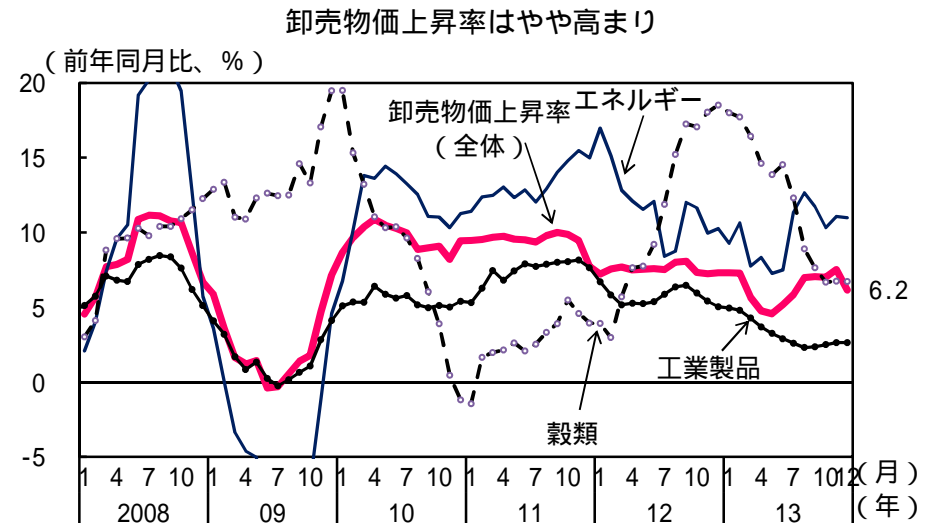
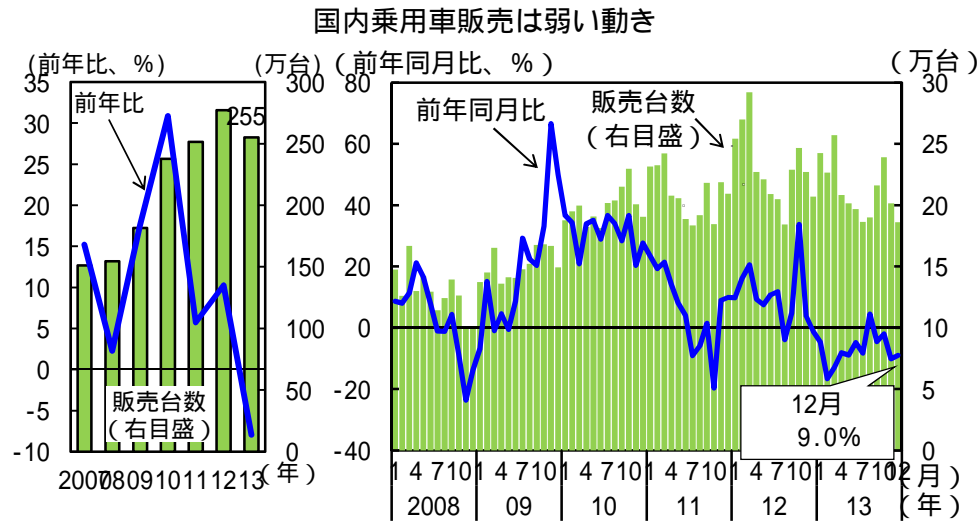
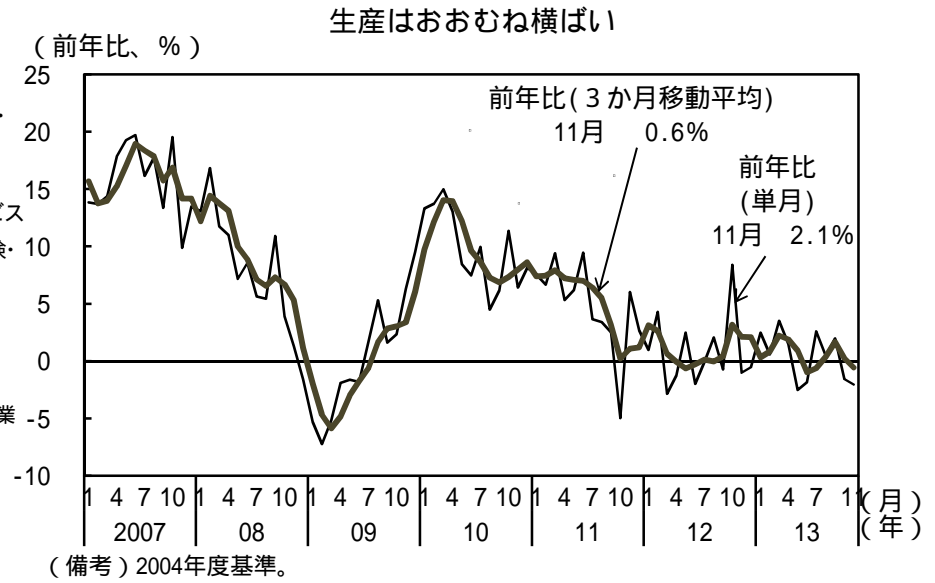
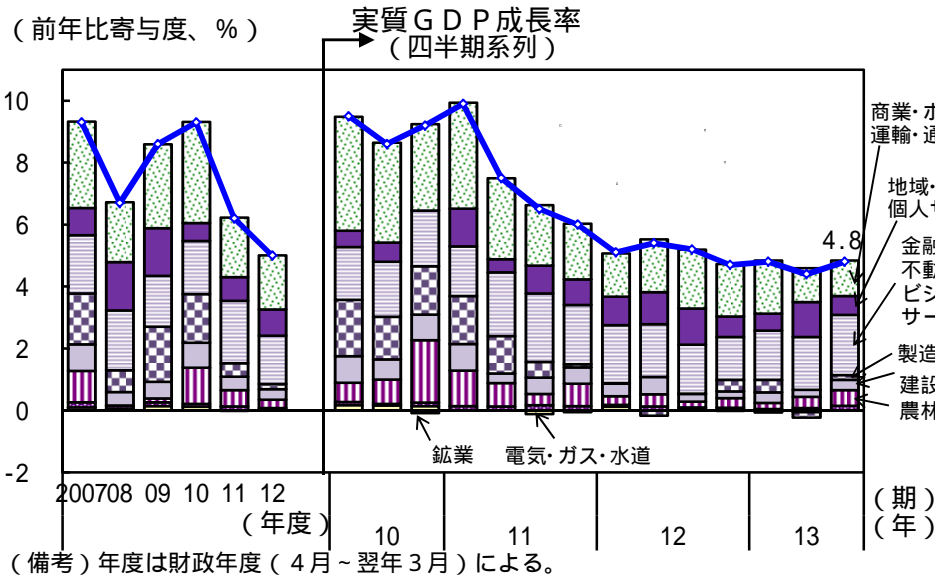
消費者物価上昇率：高まり



(備考) 1. インドネシア及びシンガポールは原系列(3か月移動平均)の前年比。
2. タイは民間消費(季節調整値)の前年比(タイ中銀の手法に準ずる)。

インド：

インドでは、景気は下げ止まりの兆しがみられる。



(備考) 2012年度予算において物品税を以下の税率に引上げ(2012年3月より実施)。
(小型自動車等は10%から12%、中型自動車は22%から24%、大型自動車は22%と15,000ルピー/台から27%)

(備考) 卸売物価上昇率はインド政府・金融当局が最も重視する物価指標。